

『無垢に伸ばされた魔の手』 情報まとめ

概要

【レベル】 中堅 (5-7レベルキャップ参加可能)
【冒険種別】 チップス
【依頼主】 セピア
【報酬】 12000セレン (旅費、食費 (おいなりさん弁当) は依頼主もち。)
【傾向 (メタ情報)】 事情聴取、護衛任務
【拘束期間】 3～5日。
【推奨能力】
戦闘能力。護衛能力。柔軟な思考。アヅマ語を解すこと。

仲睦まじい夫婦と娘が暮らす小さな山村。
そこへ忍び寄るは人外の術を修めた達人たち
かつて男が暮らしていた忍びの里からなぜいまさら魔の手が伸びるのか。
外道の闇が安寧の微風を乱し、無垢な鳴き声が山村に木霊する。
果たして冒険者は奇々怪々なる術者から親子を守りきれるのか。
【無垢に伸ばされた魔の手】を払うのは……？

注意

中央酒場 12/3 23:01

途中参加は開始二日目 (12/6) までは可。

依頼

中央酒場 12/3 21:26～23:22

セピアが古い知り合いからの手紙を受け取る。宛先はサカイ神社。

手紙の内容は、近況や身の回りの出来事から始まり、**健やかに育った娘の行く末が心配と記されている。**

セピアは過去その知り合いに『**困ったら神社にでも頼んでみたらどうだ**』と言ったことを思い出した。

不審に思ったセピアは配下の忍びを派遣しようかと思案するが、それでは不安を感じる。

そこで冒険者を募集して行かせようと思いついた。

勇者を迎撃するための配下が欲しいハーティリアを始めとする冒険者達が集まってくる。

セピアは冒険者たちの質問に答えつつ注意を与えた。

気になる手紙が届いたので、しばらくアヅマに力を割けないセピアに代わってアヅマにいる旧友の様子を見てきて欲しい。**旧友は「抜け忍」で、襲いかかってくるとしたら指折りの忍者や侍になりそう。**大穴で盗賊もありうる。

手紙の内容は子供が大きくなったことと、その行く末を心配するような内容だった。セピアの記憶ではその旧友は弱気な男ではなかった。ただ、内容が曖昧なので、何が起っていて旧友がどうしたいのかも含めて調査をしてもらいたい。

首魁を狙うのであれば、忍者の一人くらい捕らえることはできそう。

セピアの旧友は手練であるがホオヅキの冒険者ほどではないだろうという想定。

旧友がいるのはタンバの無名な山村。役人の目はそう厳しくないだろうという想定。元はスルガにいたらしい。**娘の歳は五歳。**

出発準備			海中の恋歌 12/5 21:16~21:49
キャラ名	偽名	変装	両替
ヴィザンティラ	アカネ	髪を黒く染めて外套を閉じるだけ	10両 (アヅマ銀10000)
ヴィルラム	ホムラ	狩人スタイル 変装達成値: 25	10両 (アヅマ銀10000)
ハーティリア	ヤツデ	易者スタイル (フェイスベール) 変装達成値: 24	宝石三個+アヅマ銀1900
フリック	クロ	浪人スタイル 変装達成値: 14	2両 (アヅマ銀2000)
ユノ	ユノ	髪を黒く染めて着物スタイル	アヅマ銀1500
一行はヤツデが主を勤める旅芸人一座に身をやつした。ヴィザンティラとヴィルラムとフリックは用心棒のような雰囲気。			

街道	海中の恋歌 12/5 21:49~22:32
セピアの手によりタンバの国に通じる街道に転送された一行。周囲には人気もなく半日程度で目的地である慈尊院 (ジソンイン) 村に到着できそう。全員、セピアから一日分の食糧として稲荷寿司弁当を持たされている。いつでも食べられる達成値32。粗末にすると天罰が下る。	
慈尊院村への道中。身体の大きさに目立つものの、たまにすれ違う通行人からは特に怪しまれない。	
予定通りに到着できそうだった時に、浪人めいた雰囲気で鷹のように目つきが鋭い彫りの深い男に呼び止められた。ボサボサ髪を短くまとめ、洗っていないささうなねずみ色の色あせた着物を着ている。流れ者のソウセキと名乗った男は一行に慈尊院村の生き仏の噂を知らないかと訊いてきた。日々の糧にも困り生き仏の慈悲にあずかりたいとまで言う。生き仏の噂を知らなかった一行は正直に知らないと言うと、ソウセキは一行から離れていった。	

村	海中の恋歌 12/5 22:34~23:25
旅芸人に身をやつした一行は物見櫓の番人に見咎められることなく村に入ることができた。	
季節は秋深くで時刻はお昼過ぎ。村人たちはそれぞれの仕事をしている。	
ハーティリアが軽く村を回ってみると、この村の娯楽施設は山路に湧いた自然の温泉くらいのもので分かった。しかし、観光資源としての温泉があるため静かだが貧乏な村ではないようだ。ゲンイチロウらしき人は見当たらなかった。	
温泉の方で物売りをしている村人と会話をした。	
ハーティリアは塩味のふかし芋 (ジャガイモ) を買った。銀ふたつ。	
ヴィザンティラは湯の粉と冷やした温泉水を買った。銀十個。湯の粉をつけてヘチマで肌を磨くとツルツルになるらしい。	
村長の家は大通りの先の立派な屋敷らしい。村をひと周りしたハーティリアは屋敷の位置が特定できた。	
村に旅籠はいくつもあるが、『風扇屋』という宿をお薦めされた。山で獲れた獣が出されることもあるらしい。	
村人の話の中で『風扇屋』に腕の良いゲンイチロウという猟師がいることが分かった。奥さんは別嬪でテルヨという名前。娘は可愛いらしい。	
ゲンイチロウの居所が分かったので、一行は拠点確保も兼ねて『風扇屋』へと移動した。	

風扇屋	海中の恋歌 12/5 23:26~12/6 0:38
風扇屋は派手ではないがしっかりと造りの良い建物だった。(日本の温泉旅館風)	
若い衆に案内されて宿へと入る。一人一泊で銀50個。食事やお風呂の代金も含まれている。厨房などを省いて従業員は十人程度。若い衆にゲンイチロウの話を聞くとイノシシや野鳥をよく獲ってくるらしい。今は怪我をしていて旅籠の中の部屋にいます。ソウセキの姿は今のところは見当たらない。	
ヴィザンティラとヴィルラムがうっかり口を滑らせ、アヅマの旅芸人らしからぬことを言うがなんとかごまかしてゲンイチロウの部屋へと案内をしてもらう。生き仏の話をする若い衆に冗談だと笑われた。	

見舞い

海中の恋歌 12/6 21:12~23:03

旅籠の若い衆は襖を開けて一行を案内すると戻っていった。

部屋に入った一行はゲンイチロウと対面する。ドテラを着込んで火鉢にもたれかかり煙管をふかしている壮年の男だった。

一行は手紙を見て心配したセピアに派遣されたようなことをそれとなく伝える。

ゲンイチロウは一行を冒険者と見込んで、一行に事情を説明し始めた。

ゲンイチロウは赫者衆という忍の里に属していた。そこは外法の忍術を得意とし、特異で腕は確かだが評判は悪かった。ゲンイチロウは一人の女に心を奪われ、彼の忍術が人に譲り渡せる類のものであったので、忍術を渡して里の情報の一部を忘れるという条件で忍者を引退することができた。

ゲンイチロウに子供が生まれたが、その子タマは制御できない瞳術を使える目を持っていた。

タマに柿の実をせがまれた手練の忍者がわずか数尺という高さから転落死をした。谷底に落ちても多少痛いくらいで済むような手練のはずだった。(タマの瞳術が偶然発動した)

その手練の葬式で、身体の時間を止める(不死術のようなもの)術の使い手で当時の御鳳輦の空天が、止めていた時間を一気に食らったかのように小さな干物ようになって老衰死をした。(精神的に不安定になっていたタマの瞳術が暴走した)

タマが術を使いこなせる(うっかり発動しなくなる)なら問題はないが、まだ五歳なのでそれは望めない。タマの力は先祖返りのようなものらしい。

里は【タマを神輿として祭り上げようとする保守派】と【タマの力を恐れて殺害しようとする過激派】に分かれた。

保守派と過激派の話合いが熱を帯びる中、過激派の一部だった指折りの実力者がタマを殺害しようとして自滅。これに激発した過激派がタマに襲いかかったため、ゲンイチロウとテルヨとタマは慈尊院村まで逃げてきたのだった。これがタマが二歳ほどの時の話。

ゲンイチロウの怪我も、襲いかかってきた過激派の忍びと戦っているところをタマに見られたのが原因だった。

タマに見つめられると不思議な気持ちになる。すべてを見透かされているような、言葉にできない脱力感。己を保てなくなるという。

タマに鏡を見せると鏡が割れた。鏡を使って自分で自分の力を消すことはできなかった。

ハーティリアの推測では、タマの瞳術が発動すると【テオクリスタル等で若返っている分の年齢が一気に襲いかかってくるであろうこと】【あらゆるスキルが使用不能になるであろうこと】【常時発動している魔術が解除される恐れがあること】が考えられる。

ゲンイチロウにソウセキの話をする、ソウセキはゲンイチロウの術を受け継いだ保守派筆頭であることが判った。

ソウセキとの会話の中で生き仏に触れたところで異変が起こった。

ゲンイチロウの背後からいきなり巨大な腕が伸びてきてゲンイチロウの首を鷲掴みにした。

??? 「ククク、貴様は知る必要のないことよゲンイチロウ……どんな援軍を頼んだかと思っていたが、ここで貴様を殺してしまえば同じこと。往生せい！！」

しかし、それはソウセキではなかった。ソウセキはいつの間にか一行の後ろに立っていた。二人とも完全に気配が消えていた。

ソウセキの言葉から、巨大な腕の主はギョウブ（刑部?）というらしい。どうやら彼にも隠し事があるようだ。

ヴィルラムが腕を引き剥がそうとすると腕はゲンイチロウの首を掴んだままで天井まで移動した。ギョウブが使っているのは幻術ではなかった。ハーティリアには看破できなかったが、赤外線視力があるフリックの目にはギョウブの姿が見えた。

一行が手をこまねいていると、そこにタマが現れた。外から戻ってきたらしい。

タマはゲンイチロウが危険な目に遭っていることを察すると天井を睨みつけた。それに反応してゲンイチロウの首を掴んでいた手を離して窓（部屋は二階だった）から逃亡を図ったギョウブだったが、窓から飛び出したように見えたギョウブの時間が巻き戻され天井に戻ってしまった。

ゲンイチロウは下にいたヴィザンティラがキャッチ。その上からギョウブが落ちてきた。ヴィザンティラがゲンイチロウを抱えたまま下がり、ヴィルラムがギョウブにタックルしてゲンイチロウを守ろうとしたが、タマの瞳術に巻き込まれてしまった。

システムメッセージ 【ヴィルラムの冒険者レベルが0になりました。あらゆる冒険者技能が使用不能です（パッシブ）】 【アミュレットなどの消費系マジックアイテム装備していた場合、それらがすべて破壊されました（荷物の中のものは無事。あくまで装備中のアイテムのみ）】 【自分本来の年齢へと肉体が逆行しはじめました】 【共通語も含めて全ての言語が理解できなくなっています】 【消費系以外のマジックアイテムは全て効果を失っています】 【種族特性が無効になっています】 【全ての抵抗値が0になりました】 【これらはあらゆる事象の何よりも優先されます】

天井から落ちたギョウブは首の骨を折って即死。ヴィルラムはその上に倒れ込んだため普通に転んだ程度で済んだ。

そこに、ゲンイチロウは助かったからと落ち着かせようとしたハーティリアにタマの視線が移動。ハーティリアもヴィルラムと同様な効果に襲われた。しかもさらにその続ぎがあった。

【ハーティリアの転生効果が無効化されました。ひとつ前の職業として扱われます】 【レベルキャップが破壊されました。本来のレベルで行動可能です】（レベルキャップ破壊中はスロット技も使用可能になる）

タマの視線がハーティリアに移ったのでヴィルラムへの瞳術の効果が消えてヴィルラムは力が戻ってきた。ただし、消費アイテムは壊れたままだった。ゲンイチロウは苦しみながらもタマに無事を伝え、一行にタマの目を塞ぐように言った。手を添えるだけでいいようだ。

その時にタマの視線がゲンイチロウに移動したためゲンイチロウを治療しようとしたヴィザンティラにもタマの瞳術の効果が発生。ヴィザンティラは効果中リアナとの結びつきすら失ってしまった。

ヴィルラムがタマの目を塞いで、ひとまず騒ぎは収まった。タマの頭を撫でるヴィルラムだが、タマは取り乱し、ゲンイチロウに飛びついて泣き出す。

旅籠の者が来て騒ぎにならないようにギョウブの死体を担いで脱出しようとするソウセキに、ハーティリアは死体を要求。死体を投げ渡されたハーティリアはシャドウサーヴァントに死体を格納。ソウセキに一目置かれた。廊下から人が近づいてくる物音がすると、ソウセキは深夜にまた来ると言い残して去っていった。

旅籠の中居が来たときには、ヴィルラムが派手に転んだことにしてなんとかごまかした一行。中居は騙されてくれたのか下がっていった。（明らかな病人や怪我人がいたら騒ぎになっていた）

騒ぎの中でハーティリアは瞳術について密かに考察していた。

タマの瞳術には少なくとも【無力化（イレイザー級）】 【理（ことわり）の破壊（GM権限干渉）】 【時間逆行（指定した対象の時空間操作）】 の三つの能力が存在する。部屋で起きた異変は全てタマの瞳術によるものであり、ソウセキの術ではなかった。ホオツキに報告した瞬間に確保か殺害の命令が来るだろう。この術を悪用すればスロット枠の破壊などのチート行為すら可能になりそうだ。しかも、これらは発展途上であり、成長・習熟すればどうなるか分からない。

タマの瞳術を封印するには、目を抉る、術者を殺す、術者の心を壊すなどの残虐な方法しか今のところは思いつかない。

ゲンイチロウの怪我を治療しようかと思ったヴィザンティラだったが、傷をみるとタマが動揺するのでタマが寝静まってからに先延ばしすることとした。極限まで肉体を鍛えていたギョウブが天井から落ちて死んだことにやるせない顔をしているゲンイチロウ。

ソウセキに譲り渡した技についてのゲンイチロウの記憶は消されている。上忍以上の技や秘密の抜け道などの情報も消されているらしい。ゲンイチロウは現役時代には『雷霆』と異名がついていた。これが手がかりになるはずだが…。また夜になって部屋を訪れると予告しておいて一行は客室へと移動した。

タマの恩返し

海中の恋歌 12/7 22:12~23:05

割り当てられた客室は一階角の良部屋。六畳一間の個室。凝った庭に面していて静か。わずかに虫のさざめきや風に揺れる葉擦れの音が聞こえるくらい。

ヴィルラムは火に祈りを捧げ、フリックは休憩。ユノと鎧を脱いだヴィザンティラは部屋の中のチェックをして回る。

そこにタマが訪ねてきた。暇になったから遊びに来たらしい。どうやら本物のようだ。

普段、ゲンイチロウから『お世話になった人にはお礼をするものだ』と教え込まれているようでそれを実践しに来たようだ。お茶を入れようとしたが茶筒が開かないので一行に白い金平糖をくれた。フリックが金平糖の一つをタマに食べさせようと手を伸ばすと、一瞬ビクツとして後退りしてから目を閉じて口を開けた。(腫術が発動しないかと不安になっている?)

ヴィザンティラは稲荷寿司弁当をタマにあげようとしたが、テルヨから夕飯の前にたくさん食べないように教え込まれているようで、稲荷寿司を受け取らずに我慢した。

そして、タマは一行にゲンイチロウを助けてくれたことに礼を言った。

タマ「アカネおねーちゃん、ホムラおねーちゃん、金平糖のおにーさん、そっちのおねーさん。今日はありがとうございました。ちちさまをいじめる人から助けてくれて。…わたしもっと良い子にしています。私は良い子だから、ばけものじゃありません。……………、こわがること。ないです」

里で化け物扱いされたのだろうか?と思わせるようなタマの台詞。彼女なりに気にしているようだった。一行はそれぞれフォローを入れるが、部屋から出ていったタマには届かない。

夕食と異変

海中の恋歌 12/7 23:05~23:27

部屋に夕食が運ばれてきた。貴重な鯉の味噌汁をはじめとした山の幸がてんこもりになっている。アヅマ酒は近隣の地酒を熱燗で。呑めない人用に果物の搾り汁も用意されている。なお、飯盛女(エッチなサービスをしてくれる女性)はゲンイチロウの配慮なのかついていなかった。

ゆっくりと夕食を摂っていると、旅籠の中が急に騒がしくなった。襲撃ではなかったようだが、耳を澄ませて聴いてみるとテルヨとタマを呼ぶ声が聞こえてきた。旅籠の廊下では人が忙しく行ったり来たりしている。ユノとヴィルラムとヴィザンティラは慌ててゲンイチロウの部屋へと向かった。

洗脳

海中の恋歌 12/7 23:27~12/8 21:10

ゲンイチロウの部屋に行くと、ゲンイチロウは陰しい表情で手に持った紙を睨みつけている。顔面蒼白だが目は充血。手紙を左手で握り潰してわなわなと震えている。ゲンイチロウはテルヨが保守派にさらわれ、タマはそれについていったと言う。

手紙には『二人は預かった。今日一日おとなしくしていれば無事返してやる 赫者衆』と書いてあった。

保守派が何を考えているのはわからないが、タマを傀儡にするならテルヨを人質にするのは有効な策。タマは怖がられないように良い子でようとしている。

ゲンイチロウが里を離れて数年。上層部が何を考えているかはわからない。腫術をなんとかできる方法があるのかもしれない。

保守派にとってタマは御神体。無碍に扱うことはないだろう。タマとテルヨは、容易に侵入できない神社仏閣が発見しにくい洞窟のどちらかにいるだろう。しかし、下手に動くとテルヨの身が危険。

赫者衆（あかしやしゅう）とはテンジクの言葉（サンスクリット語）で【アーカーシャ】、つまり地水火風の四大に虚空を混ぜて五大という意味が由来。初代赫者衆の頭領は自然を自在に操り、空間をも自由にしたと言われており、いつかは千年の俸禄すら時の將軍に保証されていたらしい。

今でも赫者衆の中の特に精鋭である御鳳輦（ごほうれん）はそれぞれ地天、水天、火天、風天の称号を里より授かり、それを空天たる筆頭が纏めている。ゲンイチロウはタマにより老衰死させられた先代の空天の後継者（過激派）が敵だと考えていた。

ソウセキは上忍だが御鳳輦ではない。保守派である里の長老より使わされた監視役のようなもの。

違和感

テルヨとタマをさらったのは保守派。保守派はタマを神輿により一層の勢力拡大を目論む一派。対して過激派は御鳳輦を始め今でも十分に里の中で権勢を誇っている。特上の能力もあって自分を害する可能性のあるタマを物理的に排除しようと目論んでいる。

違和感

ここでヴィザンティラはゲンイチロウの言葉に違和感を感じた。ソウセキは御鳳輦だったはず。セピアより学んだ【邪謀・非人策】を思い出し、それを踏まえて違和感を整理していく。

- 1.ゲンイチロウが妻子の危機に無気力
- 2.目の焦点が合っていない
- 3.記憶を消したはずなのに里の事情に詳しい
- 4.矛盾を孕んだ言葉を味方である一行に伝えた

ヴィザンティラはゲンイチロウが手紙によって操られていると看破した。手紙には無色の墨で見る者を催眠洗脳をする呪文のようなものが書かれていて、手紙を注視すればするほど術中にはまってしまうという仕掛けのようだ。ヴィザンティラに看破されてグラリと片膝をついたゲンイチロウの口から彼のものではない声が聞こえてきた。

転寝「おやおや、オイラの術を見破るなんて思ったよりも冷静じゃないか……一緒に慌てて明後日の方向を探してくれると助かったんだがねい。オイラは赫者衆 地天の転寝（ごろね）…おっと、こいつはオイラの伝写の術であらかじめ仕込んでおいた言葉だから周りを探っても無駄だぜ？ とはいえこれは伝写（でんしゃ）の術の中でも一番格の低い各役停写（かくえきていしゃ）……こんなものが俺の実力じゃないことだけは言い訳させてもらうぜい。さて、それじゃあゲンイチロウが目覚ましたらこう伝えな。『時の逆鋒』を砕く準備が出来た、とな。あんな化物を生んでくれてご苦労さん、ってな！」

ゲンイチロウはゴロネからの言葉を伝えるとそのまま気絶した。ヴィザンティラは楽器を取りに戻り、一行は合流。ピュアサウンドでゲンイチロウの目を醒ました。聞けばゴロネは過激派に属していたという。

改めてゲンイチロウは一行に妻子を取り戻すのに協力して欲しいと頼み込む。異口同音に協力の意思を伝える一行。ゲンイチロウの次の行動は驚くべきものだった。

三種の神器

海中の恋歌 12/8 21:11~22:37

ゲンイチロウはハーティリアのシャドウサーヴァントに格納されていたギョウブの死体を引っ張り出して、ギョウブの死体から記憶と技術を吸い出した。ゲンイチロウの本当の力は森羅万象を吸い出す『掃除器』と吸い出したものを蓄える『霊蔵庫』だった。ゲンイチロウは続いて一行に息を吹きかけることで、彼の妻子を救出するのに必要な情報を渡した。

赫者衆の現在の根城は街道をスルガに向けて行ったところの峠にある洞窟の中。

ソウセキはゲンイチロウの叔父であり、ゲンイチロウの術を受け継いだ忍びである。そして現在赫者衆筆頭であり、保守派筆頭としての裏側では過激派に指示を与えていた人物でもある。ゲンイチロウの友等をつかってゲンイチロウの術を誤認させたり、裏工作をしていたのもこの人。

赫者衆にはゲンイチロウの記憶と術が戻ったことはバレてはいない。なぜならばタマが一行が部屋を去ったあと、ゲンイチロウの怪我を治した“ついで”に記憶や術を復元したからである。

ゲンイチロウから与えられた情報に拒否反応を起こしてしまったユノ。ユノに流した情報を吸い戻して、ユノを一時的に人間の姿でも会話が可能な状態にした。

赫者衆の目的は里の復権。衰退の一途をたどっていることを危惧した里の者たちは**タマの瞳を使い初代赫者衆の里長を蘇らせようと目論む**。初代の復活には、初代の魂が封印されているという仏像とその封印をとくために**タマの瞳術が必要**。最初から誘拐で一致団結しては**ゲンイチロウの抵抗が激しいので、わざと保守派と過激派にわかれてゲンイチロウを揺さぶりながら機会を伺っていた**。つい先日、仏像の方の準備が整ったので御鳳輦はソウセキの指示によってタマの誘拐を決行。今に至る。

しかし、「生き仏」については今の**ゲンイチロウにも分からない**。
タマの瞳術は**ゲンイチロウが吸い取ることで引き取って解決可能なようだ**。
軍や神殿にしがらみのある**ヴィルラムとヴィザンティラはこの能力についての情報が外の世界に漏れて騒ぎにならないように、事が終わったら記憶を消すようにとゲンイチロウに願い出た**。
ゲンイチロウの望みは妻子を取り戻すことのみ。御鳳輦を討ち取ればもう組織としての赫者衆は終わりになるだろう。
改めてゲンイチロウは協力をすると行った一行に感謝の意を伝えた。
ヴィザンティラがレッドペインターで装備を赤くして、ハーティリアがギョウブの死体をシャドウサーヴァントに戻す。
準備のできた一行と**ゲンイチロウは行方知れずとなったタマとテルヨを探しに行く**と旅籠に伝えて出発した。

転寝	海中の恋歌 12/8 22:39~22:59
目標の峠に向かう一行は、峠でごろ寝している男に遭遇した。地天のゴロネだった。 ソウセキからは一人足止めにしろと命じられていたゴロネは一行に選択を迫る 。 ヴィザンティラが残る案、全員で襲いかかる案、ハーティリアが残る案が出た。全員で襲いかかるのを選択した場合、同士討ちをさせられる危険性があると考え、 ハーティリアが残ることとなって、一行は洞窟を目指して再び進み始めた 。	

洞窟（マスタシーン）	海中の恋歌 12/8 23:04~23:08
洞窟では テルヨが縄で縛られて吊るされている 。 タマを囲むようにしてソウセキをはじめとした忍びたちが座っている。 母を返せと叫ぶタマに、こうなったのは化け物であるお前のせいだと圧迫をかけるソウセキ 。 何やら怪しげな香を吹き、タマの精神は言葉巧みに侵蝕されていた。	

超特急	海中の恋歌 12/8 23:09~12/9 0:36
一人残ったハーティリアとゴロネの戦闘が始まる 。ハーティリアはゴロネの力を押し量った。相対距離は10mで開始。	
【地天の転寝（ごろね）】：レベル10 忍者（特殊）。/特殊能力 【伝写の術 各役停写】：直接または間接的に暗示をかける能力。非戦闘能力。かくえきていしゃ。【伝写の術 特級 松風】：種別A 移動力の1/10の命中とダメージを補正に加える移動攻撃。命中した相手に【指定石（していせき）】を打ち込むことができる。【伝写の術 特級 白鷹】：種別D 空中を自由に移動できるようになる。発動時に10m分移動可能。指定石が打ち込まれた相手の場所に瞬間移動が可能（空中移動or瞬間移動）【伝写の術 新幹閃】：種別奥義。タイミングA。この戦闘で移動した距離の1/10を命中とダメージに加える。背後からの攻撃扱い。しんかんせん。【ボスランク】：判定はダイスを振る。HP増強。オリジナル特殊能力持ち。【デメリット】：伝写の術を使う度に移動力が1/5になっていく。	
1ターン目	
ハーティリアは自らに課していた能力制限を（ルールの許す範囲内で） 解放し、ダブルキャストを宣言 。 一手目で コンフューズをかけてゴロネを混乱状態にした 。さらに 二手目で魅惑のカードを使用 。 ゴロネを誘惑した 。ゴロネは混乱中のため、魅惑のカードの効果が先送り（ただし、5ターンをすぎると無効となる）にされた。 混乱したゴロネはその場で武器を振り回してしまい、ハーティリアが射程外にいるため無駄に終わった。	
2ターン目	
ハーティリアはゴロネの直ぐ側まで移動し、行動を終了。 一方のゴロネは混乱が解けてハーティリアに誘惑された 。	

3ターン目

ハーティリアはアンクルホーンを生やしてパラライズキスを浴びせてゴロネを麻痺状態にする。
そこからハーティリアは3ターン使ってゴロネの首を切り、**闇の従属を使ってゴロネを支配下に置いた。**

ハーティリアはゴロネを支配下に置いた上で傷を治し、彼の持つ移動スキルを利用して先行した一行を追った。

接近

海中の恋歌 12/11 21:13~21:57

ハーティリアにゴロネを任せて先に進んだ一行は洞窟から離れたところについた。周辺の地形は山（フリックに種族特効発生）だが、戦闘する分には平地とさほど変わりがない。一行の背後100mは崖になっている。洞窟には注連縄がかかっている、洞窟内からはとんでもない魔力が溢れ出している。しかし、この場の五人は魔力視をしなかった。

洞窟から手前に10mほどの場所に四人の忍びが待ち構えている。ゴロネ以外の御鳳輦が集まっている。忍びからの距離は50mほど。忍びの姿は幻術などではなかった。火天アカダマは業物の阿修羅刀を持っていて直接戦闘力が高い。空天ソウセキはゲンイチロウと全く同じ術を使用する。水天オロチ（巨乳）と風天ジンキチ（鎖鎌使い）はゲンイチロウも知らない忍びだった。

【掃除器】の力で能力を吸われると吸われた者はその能力を失ってしまう。【掃除器】の使い手であるソウセキはゲンイチロウが相手をして能力を相殺することとなった。

フリックが眼力に頼って空天以外の忍びの力を押し量る。

【火天のアカダマ】Lv11 敏捷：20

特殊能力（戦闘）

- ・修羅 Lv9
- ・【変幻殺法・業火】：変幻殺法・火の効果に『命中をさらに+1。命中した攻撃のダメージを二回振る。被ダメージ+2』を追加する。
- ・【装備：火車】：隕鉄で鍛え上げられた超重量の阿修羅刀。重量18扱い（実質15）。B+20。C-1。
左右の命中ペナルティ無し
- ・『ボスランク』即死攻撃無効・ステータス異常一部無効・鉄壁防御@1・HP増強
- ・弱点：刺突、魔法、プラスト→被ダメージ+2

【水天のオロチ】Lv8 敏捷18

特殊能力（戦闘）

- ・捕縛術 Lv8
- ・【ヤマビル】：素手や蹴りなどの肉弾攻撃が命中した場合に追加で発動する。
全身金属鎧（金属鎧扱いは除く）以外の相手にHPを完全防御無視で3点のダメージを与え、HPを3点回復する
- ・【ヒルコ】：アクションA 相手を捕縛した状態で発動可能（捕縛術の追撃としても使用可能）。
相手にB20（Cなし）の完全防御無視ダメージを与え、与えたダメージ分HPを回復する。
この攻撃で対象のHPが1/3を切った場合、その対象は気絶する。
- ・【血霞】：アクションSorA ヤマビルやヒルコの後に追加で発動できる。
自分を中心として消費したHP×2mの範囲を血の濃霧（煙幕状態）にする。
自分自身はこの濃霧のペナルティを受けず、他に濃霧に入っている相手は命中・回避に-2のペナルティを受ける。
強風等で吹き飛ばせる。
- ・煙幕無効：このキャラクターは煙幕のペナルティを受けない
- ・弱点：刺突、魔法、プラスト→被ダメージ+2
- ・『ボスランク』即死攻撃無効・ステータス異常一部無効・HP増強

<p>【風天のジンキチ】 Lv9 敏捷20</p> <p>特殊能力（戦闘）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・命中18 【野分】：射程20m B20+8 C10 命中した相手の腕もしくは脚を部位破壊状態にする。 もし対象のHPの1/3以上のダメージを与えていた場合、 宣言した部位を部位欠損状態にしてもよい。（この効果は任意である） ・命中19 【颱風】：射程30m B20+8 プラストダメージ扱い。放射。 命中した相手はそのターン達成値-2。 （オーガサイズより小さい）相手をダメージ分ノックバックさせる。 回避をファンブルした場合は転倒する。 すでに転倒している相手がこの技を受けた場合、 転倒から回復するのに2ターンもしくはTP3消費必要となる。 ・煙幕無効：このキャラクターは煙幕のペナルティを受けない ・『ボスランク』即死攻撃無効・ステータス異常一部無効・HP増強 <p>フリックが必殺技を放って奇襲をかけることとなり、戦いの火蓋は切られた。</p>
--

乱戦	海中の恋歌 12/11 21:57~12/12 1:49
一行は四人の忍びに対して奇襲攻撃をかけた。	
奇襲ターン	
【洞窟】 -10m- 【空天・火天・水天・風天】 -50m- 【PT】 -100m- 【崖】	
<p>フリックが縦横無双・エンチャントルーン（氷）を宣言。ユノはヴィザンティラに『私の誇り』を歌って行動回数を追加した。ゲンイチロウがフリックの横に立ってソウセキの掃除器を相殺。フリックは虚式抜刀術・秘伝『八雲断ち』（縦横無尽撃）を放ちソウセキたち全員を捉え、大ダメージを与えた。ゲンイチロウとソウセキは戦場を移し、その場から消える。ユノは歌いながら前進。ヴィザンティラは前進してナカダシームを飲み、ヴィルラムは前進した。</p> <p>ヴィザンティラは追加行動でさらに前進してトランクを使って氷獄タルヒを発動。火天アカダマ・風天ジンキチは抵抗したが、水天オロチは抵抗を破られ、ダメージを重ねられた。ヴィザンティラはトランクをシールド二つに持ち替える。</p>	
1ターン目	
【洞窟】 -10m- 【水天・風天・火天】 -15m- 【フリック（5mZOC）】 -6m- 【ヴィザンティラ】 -14m- 【ヴィルラム】 -10m- 【ユノ】 -105m- 【崖】	
<p>火天アカダマは変幻殺法・業火を発動。水天オロチは血霞を発動し周囲20mを煙幕のかかった状態にした。さらに三人とも忍法霧霞を宣言して行動の自由を確保した。</p> <p>フリックはエンチャントルーン（氷）を使用。大海賊宣言（竜騎兵宣言）をして火天の攻撃を引き受けた。ユノはヴィルラムに『私の誇り』を歌って背中を押す。</p> <p>フリックは火天アカダマにライサンダーを落としたが火天にダメージは入らなかった。</p> <p>火天はフリックに両手の阿修羅刀を投擲したがフリックは二本とも回避。続く風天ジンキチは野分でフリックの腕をもぎ取ろうとしたがフリックは回避。反撃のアイアンチェーンで打ち据えようとしたが失敗した。</p> <p>ヴィザンティラはさらに前進してシールドをトランクに持ち替え、音を頼りに爆火エンテイで三人の忍びを一網打尽にし、素早くトランクをシールドに持ち替える。</p> <p>対して水天はヴィザンティラに浴びせ蹴りを放つが、ヴィザンティラの両腕のシールドに阻まれた。ここで激しい戦闘により血霞が晴れてしまった。</p> <p>ヴィルラムは前進し、もう一度歌に背中を押されて前進しフリックにバスマンタルでTPを補給した。</p>	
2ターン目	
【煙幕左端】 【洞窟】 -10m- 【火天】 -3m- 【風天】 -8m- 【水天】 【ヴィザンティラ（無視覚戦闘半径14m）】 -4m- 【フリック（5mZOC）】 -5m- 【ヴィルラム】 -20m- 【ユノ】 -1m- 【煙幕右端】 -109m- 【崖】	

ヴィルラムは火天アカダマに『反転強化』をかける。フリックはエンチャントルーン（氷）を継続。ユノはマナシングで『私の誇り』を歌おうとしたが、煙幕で味方の位置がわからずに失敗する。

水天オロチは再び血霞を展開。戦場を煙幕状態にする。火天アカダマは変幻殺法・業火を宣言。さらに火天・水天・風天は音無し+と忍法霧霞で気配を断ち煙幕の中での優位を得る。

大技を使おうとしたフリックは手番をヴィザンティラの直後に遅延した。

風天ジンキチは鎖鎌を投擲し、音を断たれて周囲が見えなくなったヴィザンティラを硬く緊縛。ヴィザンティラはほとんど身動きが取れなくなった。そこに前進した火天アカダマがヴィザンティラに拳と蹴りを打ち込むがヴィザンティラは奇跡的に拳を回避。蹴りもブルーメタルの鎧に阻まれてダメージが通らなかった。

フリックは前進してワールウィンドで火天アカダマと水天オロチを刺し貫こうとするが、火天と水天は回避。そこに追撃（セカンドラッシュ）を入れたフリック。水天オロチはその一撃に沈んだ。ヴィザンティラは絡みついた鎖鎌をほどこうとするが、全く動けない。ヴィルラムはフリックが瞬間転移で退いたタイミングでダークバーンを火天アカダマと風天ジンキチに向けて放ったが、二人とも回避。巻き添えになりかけたヴィザンティラも気配だけで回避した。

3ターン目

【煙幕左端】 【洞窟】 -13m- 【風天】 -8m- 【火天】 【ヴィザンティラ（無視覚戦闘半径14m）】 -6m- 【ヴィルラム・フリック（5mZOC）】 -18m- 【ユノ】 -6m- 【煙幕右端】 -109m- 【崖】

ここで、ゴロネの術によって戦場に急行したハーティリアが出現。支配下に置いたゴロネが色々な情報をハーティリアに与えるが、次の瞬間に戻ってきた（ゴロネがハーティリアの手下にされたことを知らない）ゲンイチロウにより首を切られて絶命する。ゲンイチロウの手には血まみれになった空天ソウセキの首がある。

圧倒的な不利を悟った火天アカダマと風天ジンキチは撤退することに決めて、会話を引き伸ばして時間を稼ぐ。後日の憂いとなることを心配するハーティリアだが、ユノは攻撃手段がなくヴィザンティラは煙に巻かれたままで追撃が出来ず、フリックとヴィルラムは追撃をやめた。

火天アカダマと風天ジンキチが撤退することで戦闘は終了した。

洞窟

海中の恋歌 12/12 21:16~21:48

目の前まで来た洞窟。幅は大人二人が並んで入れる程度。入口付近は広がった平地のような地形。洞窟はそれほど深くはなさそう。

ゲンイチロウは早く妻子を救おうとソウセキの首を手を持ったまま一人洞窟の中に突入する。洞窟の中は篝火などはないものの奥の方から水色の光で満たされていて暗くはない。一行はトラップを警戒しながら奥に向かった。

洞窟の奥にはタマとタマによく似た女性（テルヨ）が洞窟の壁にもたれかかって気絶していてゲンイチロウが抱き起こしている。タマの両目はくり抜かれていた。目玉は洞窟の最奥に浮かんでいる小さな弥勒菩薩像の周囲をくるくると回って浮遊している。周囲は魔力に満ちていて、弥勒菩薩像の表面にはヒビが入っている。さらに奥には時空間のうねりがあり、『それ』が顕現すると周囲一帯は大被害を受けそう。しかし、今のところ一行に明確に敵対する存在はいない。

ゲンイチロウは自分の目をタマに与え、一行に浮遊しているタマの目を自分に収めるために協力を依頼した。一行はそれを受諾し、目玉の封印作業が始まった。

封印

海中の恋歌 12/12 21:49~12/13 0:36

視界を失ったゲンイチロウが目玉をゲンイチロウに収めるための術の完成を一行は（主にゲンイチロウの目の代わりになって）サポートすることになった。ゲンイチロウが術を三回成功させれば目玉をゲンイチロウに収めるのに成功する。

【洞窟入口】 -? m- 【ヴィザンティラ】 -30m- 【ハーティリア・ユノ・ヴィルラム・タマ・テルヨ】 -3m- 【フリック・ゲンイチロウ】 -20m- 【仏像】 -20m- 【洞窟の壁】

1ターン目

ハーティリアは六芒眼を駆使してゲンイチロウに目玉の位置を尺貫法で伝えた。フリックは目玉を監視して目玉が反撃など不意についてこないかをゲンイチロウに伝える。ヴィルラムはパスマENTALでゲンイチロウの精神力を回復させた。ユノは『私の誇り』を歌ってゲンイチロウが追加で行動できるようにする。ヴィザンティラはブラインドで目玉の行動を妨害。ゲンイチロウは最初の術式を成功させた。

封印されまいと目玉が反撃を行う。目玉の左右一回ずつの反撃のうち片方がブラインドによりキャンセルされた。残りの一回の反撃はヴィザンティラに向かって存在そのものを否定してきたが、ヴィザンティラはセピアの守護に頼り抵抗に成功した。

続いてユノの歌によりゲンイチロウが再行動。再び術式を成功させた。

2ターン目

フリックは再び目玉を監視して目玉の位置情報をゲンイチロウに伝えようとしたが不運にも失敗してしまう。ヴィザンティラは再びブラインドで目玉の行動を妨害しようとするが、あまり効果を発揮しない。ハーティリアはダブルキャストを宣言。壁の幻影を作り出しつつ目玉の位置にマーカーのようなものが出るようにして目玉の反撃を邪魔しつつ一行に目玉の位置を示し、さらにクリエイトウォーリアで作った戦士（術者が喋りたいことを喋らせることができる機能を利用）にゲンイチロウに目玉の位置を伝えさせた。ユノは誘惑の歌を歌い、自分に目玉の注意を向けさせた。ヴィルラムは尺貫法でゲンイチロウに目玉の位置を教える。

目玉はユノの視線を向けてユノを元の人魚の姿に戻し、さらに存在を否定しようとするが、その前にゲンイチロウの眼窩に収まった。目玉の封印は成功に終わった。

ゲンイチロウに収まった眼だが、一時的に力を失っているもののいずれ回復して暴れだすだろう。ゲンイチロウは最後にひと目タマとテルヨを見つめてから、クナイで自らの目を潰した。

目が見えない状態で、残った火天アカダマや風天ジンキチの襲撃を受けるのは辛いかと思われたが、ゲンイチロウは瞳術を押さえながら戦わずに済むので、むしろ目を潰したほうが有利に戦えると言った。

後に弥勒菩薩像が残った。ハーティリアはシャドウサーヴァントに入れようとしたが、これは不可能だった。後処理に時間がかかりそうなので、フリックとヴィルラムとユノでタマとテルヨを宿に運ぶ一方でハーティリアとヴィザンティラはその場に残った。ヴィザンティラはハーティリアが持ち帰るギョウブとゴロネとオロチの死体にフリーズドライをかけて腐敗を防止。ハーティリアは弥勒菩薩像を鑑定した。

【弥勒菩薩像（時の逆針）】：赫者衆の初代の魂が復活する通路として用意された仏像。これが破壊されたとき、復活に足る生命力を周囲から吸収し初代は現世に全盛期の肉体と能力をもって転生する。なお、破壊するためには時空の歪を貫けるほどの特殊能力か道具が必要となる。（追記）イベントアイテムであり、本シナリオ終了後に効果は消失する。（続編がある場合は因果律が歪む可能性あり）

ハーティリアは弥勒菩薩像が再び利用されるのを少しでも妨害するために星霊術（イグザベーション）で地中深くに弥勒菩薩像を埋め、後処理を終えた。宿に戻った一行は色々騒ぎになりつつもゲンイチロウがその場を上手く収めて、サカイ経由でホオツキへと戻った。

リザルト

海中の恋歌 12/13 0:55

【経験点】 各自に14000点（平均レベル6×2000点+GMの都合で2日延長2000点）

【依頼達成料】 各自に24000セレン（平均レベル6×4000セレン）

【経過日数】 2週間（移動諸々こみ）

【FP】 ファンブル数+プレイヤーキャラレベル×1（チップス参照）

【知名度】 プレイヤーキャラレベル×1（チップス参照）

【アイテム】 ・各自にテオクリスタル2個ずつ（世界の歪みを正した。ボス鉄壁防御）、阿修羅刀、死体（ギョウブ、ゴロネ、オロチ）

時系列	
1日目	出発。ポータルでタンバの街道へ移動。慈尊院村に到着。ゲンイチロウとタマと顔合わせ。ソウセキとギョウブによる襲撃。タマとテルヨがさらわれた。一行は二人を追って赫者衆が根城にしている洞窟へと向かった。洞窟での戦闘。
2日目	
3日目	
4日目	
5日目	
6日目	

固有名詞まとめ	
慈尊院村	ジソンイン。タンバの山中の村で温泉が名物。旅籠もそこそこある。商売も盛ん。セピアの旧友ゲンイチロウが妻子と住んでいる。
慈尊院村の生き仏	生き仏とは主に慈愛に満ちて周りの人間に崇拜されている人間、もしくは超自然的な能力を持つ人間を指す言葉である。今回の場合は枕に世にも珍しき、とついているのでおそらくは後者を指す。なお、慈尊院村に生き仏がいるなどという情報は【セピアからは伝えられていない】。
赫者衆	アカシャシュウ。ゲンイチロウが属していた忍者の里。外法の忍術を多く修め、特異で腕は確かだが評判は悪かった。ゲンイチロウによると、赫者とはテンジクという言葉（サンスクリット語）で【アーカーシャ】、つまり地水火風の四大に虚空を混ぜて五大という意味が由来。初代赫者衆の頭領は自然を自在に操り、空間をも自由にしたと言われていて、一時は千年の俸禄すら時の将軍に保証されていたらしい。
御鳳輦	ゴホウレン。赫者衆のなかの精鋭。地天、水天、火天、風天の称号を里より授かり、それを空天たる筆頭が纏めている。ソウセキは赫者衆の筆頭であり現在の空天で、ゲンイチロウは実は先代の空天だった。
保守派	赫者衆を二分する派閥。タマを神輿に祭り上げようとする一派。タマの力を背景に勢力を伸ばしたいと思っている。と、思われていたが、この派閥抗争はゲンイチロウを揺さぶるための虚構だった。
過激派	赫者衆を二分する派閥。タマの力を恐れ殺害しようとする一派。里の主流派。と、思われていたが、この派閥抗争はゲンイチロウを揺さぶるための虚構だった。
瞳術	<p>タマの持つ力。（一般的には対象を見つめることで効果を発揮するスキルの総称）発動するといつものは黒い瞳が透き通った水色になる。効果は以下のとおり。これらの効果は全てに優先して発現する。</p> <p>【無力化（イレイザー級）】 【理（ことわり）の破壊（GM権限干渉）】 【時間逆行（指定した対象の時空間操作）】</p> <p>無力化の内容は具体的には、</p> <p>【冒険者レベルの消失】 【装備中の消費型MIの破壊（荷物の中のものには効果が及ばない）】 【テオクリスタルなどによる年齢操作のキャンセル（本来の年齢に戻ってしまう）】 【消費型でないMIは一時的に効果を失う】 【種族特性が無効となる】 【全ての抵抗の固定値が0になる】</p> <p>さらにハーティリア限定で、</p> <p>【転生効果が無効となり転生前の職業で扱われる】 【レベルキャップが破壊され元のレベル（10）に戻る（0にはならないようだ）】</p> <p>タマが成長すればさらなる発展が見込まれる。その力は国家を含む各勢力が即座に確保か殺害に動くレベルのもの。タマに目隠しをすると術の発動を止めることができる。タマの視線から外れると効果がなくなる。（壊れたアイテムは戻ってこない）</p> <p>この能力は赫者衆の初代の頭領の持つ能力と同じものだった。</p>

伝写の術	デンシャノジュツ。地天のゴロネの使う忍術。直接/間接の手段で暗示を与える【各役停写】、爆発的な移動力を攻撃の威力に追加する【伝写の術 特級 松風】には命中させた相手に瞬間移動のための目標点【指定石】を打ち込む派生技がある。【伝写の術 特級 白鷹】は空中移動と【指定石】を打ち込んだ相手のいる座標への瞬間移動が可能となる。【伝写の術 新幹閃】は奇襲技で、この戦闘で移動した距離の合計の1/10を攻撃の命中と威力に追加することができ、さらに背後攻撃扱いとなる。(バックスタブ+を併用できるかどうかは不明)
時の逆針	赫者衆の初代の魂が復活する通路として用意された仏像。これが破壊されたとき、復活に足る生命力を周囲から吸収し初代は現世に全盛期の肉体と能力をもって転生する。なお、破壊するためには時空の歪を貫けるほどの特殊能力か道具が必要となる。
掃除器	森羅万象を吸い取る術。術の行使には圧倒的な実力差か相手の同意及びそれに匹敵する状況などが必要。かなりのチートスキル。
霊蔵庫	(掃除器で) 吸い取ったモノを蓄える術。かなりのチートスキル。
宣託機	判定に失敗した時に振り直したり、相手のクリティカルを無効にしたりする術。鉄壁防御としてなら、他のシナリオでもNPCが使ってくることはある。
天麗美情	(おそらくは霊蔵庫に蓄えた) 情報を水鏡に映して他人に見せる術。ドールマスターなら再現できそう。

ネームドNPCリスト

ゲンイチロウ	赫者衆という忍び集団に属していたセピアの旧友。壮年の男。現役の頃は「雷霆」と呼ばれていた。テルヨに心を奪われて、自分の忍術をソウセキに譲渡して里の情報の一部の記憶(里の機密事項や上忍以上の技など)を消す条件で忍びを引退したが、タマに瞳術の力が宿っていることが発覚し、それが里で騒ぎが起こったので、妻子を連れて慈尊院村まで逃げてきた。実は先代の空天で便利すぎるスキルの持ち主だった。
タマ	ゲンイチロウの娘。五歳。二歳の時、彼女に瞳術が宿っていることが発覚し、忍の里を二分する争いへと発展した。ゲンイチロウからあまり強く物を見ないようにとされている。良い子アピールをする。実際に良い子なのだが、そこには化け物だと怖がられたくないという思いがあった。母と一緒にさらわれた。
テルヨ	ゲンイチロウの妻。別嬪さん。風扇屋の厨房で働いている。登場しないうちに子と一緒にさらわれた。
ソウセキ	漱石? 浪人風で、彫りの深い目つきの鋭い男。ボサボサ髪を短くまとめ、ろくに洗っていないさそうなねずみ色の色あせた着物を着ている。赫者衆の保守派筆頭で御鳳輦のひとり。ゲンイチロウの叔父。忍術で完全に姿を消していた。レベル12以上。ゲンイチロウの忍術を受け継いでいるが、ゲンイチロウは術の中身の記憶を消されていた。現在の赫者衆の頭領で今回の事件の黒幕。ゲンイチロウと一騎討ちの末倒された。
ギョウブ	刑部? 裸のカメレオン忍者。禿頭でマッチョな巨漢。裸で目標を仕留めることが多いので肉体を極限まで鍛えていた。過激派。姿を隠してゲンイチロウに襲いかかったがタマの瞳術の犠牲となり転落死。死体はハーティリアが引き取った。
ゴロネ	転寝 赫者衆の御鳳輦の地天。伝写(でんしゃ)の術を得意とする。最も格の低い【各役停写(かくえきていしゃ)】の術でゲンイチロウを操った。他にも移動スキルを得意とする。ハーティリアに倒され彼の手下にされたが、事情を知らないゲンイチロウにさらにもう一度殺された。ハーティリアが死体を回収。

アカダマ	赫魂？ 赫者衆の火天。修羅で直接戦闘力が極めて高い。生存したまま逃亡した。
ジンキチ	迅吉？ 赫者衆の風天。鎖鎌使いで強者との戦闘には消極的。視界を奪ってからの死絡みが非常に有効。生存したまま逃亡した。
オロチ	大蛇？ 赫者衆の水天。捕縛術の使い手で打撃からの派生技を豊富に持つ。生命を削った血霞の術で有利なフィールドを形成する。外見のイメージは『バジ○スク-甲賀忍△帖-』のお◇夷らしい。フリックに仕留められた。死体はハーティリアが回収。

支出まとめ（個人支出を除く）			
宿泊費		500	
合計			500